

# パチスロ増台で好スタート 関東の旗艦店を目指す

## 満を持してのリニューアル オープン3日間は9割稼働

埼玉県羽生市は群馬県との県境に位置する人口約5万5000人の都市。パチンコ店は5店舗だが、国道122号と125号が通り、東北自動車道羽生インターチェンジもあることから、ドライブ30分圏内が商圈で、当該5店舗は隣接する行田市の5店舗、加須市の6店舗とも集客を競っている。

そんな羽生市のホールの一つが9月15日、「メルヘンワールド羽生店」としてリニューアルオープン。17日までの3連休は連日9割稼働と、好スタートを切った。

同店は、宮城・山形・秋田・埼玉の4県に店舗展開するメルヘンワールドグループの15店舗目で、埼玉県内に限ると鷲宮店と人間店に次ぐ3店舗目。

他法人のホールを今年5月1日に事業承継したもので、承継後も旧店名で営業していたが、8月20日～9月14日に店休・改装。メルヘンワールドブランドとして本格

的な一歩を踏み出した。

同店を差配する営業部の小幡光生ブロック長補佐は言う。

「営業権を譲り受けたのが、ゴールデンウィーク商戦中でしたからね。『メルヘンワールド』の名乗りを上げるのは先送りして、どんなお客さまがいる商圈なのか、把握はあくに努めることにしたのです」

意識する6店舗の客層と機械運用も、月2回は訪れて確認。こうして迎えた9月のオープン時は、ドライブ30分圏内のほぼ全世帯にチラシをまいた。

「9月15日は、やつと来たかという感じ。整理券の抽選に総台数（680台）を上回る約720人のお客さまが集まったときは、うれしかった」と笑顔を見せる。

## パチスロの看板は 「マイジャグV」40台

今後は、スタートの勢いをどう持続させるか。

「カギを握るのはパチスロだ」と小幡ブロック長補佐。従前はパ



スタッフは約20人。一致団結して地域一番店を目指している



レストスペースには約5000冊のコミックを用意

4パチもオープン初日からの3連休は9割稼働。ちなみに、パチンコは全台各台計数機



- 所在地／埼玉県羽生市小須賀571-1
- リニューアルオープン日／2018年9月15日
- 経営／メルヘンワールドグループ
- 代表者／琴亮吉氏
- 店舗数／15店舗
- 総台数／680台（うちパチスロ360台）



「マイジャグラーⅣ」を1BOX抱えているのは商圏内で同店だけ。ピーク時はほぼ満台をキープする

チンコ、パチスロともに320台だったが、今回、パチスロを360台に増台した。営業の軸はパチスロとする決意の表れで、「この360台の稼働を、高い次元で安定させたい」と話す。

もつとも、パチスロが強いのが同社の特長だと明言。「自分も、今までの店舗でパチスロを軸に業績を上げてきた」と自信を示す。

看板は、「マイジャグラーⅣ」40台。同機を徹底した顧客本位の営業でアピールすることで、「ジャグラー」シリーズ105台、ひいては、パチスロ全体の稼働を引き上げたいと強調する。

その上で、「鷺宮店と人間店は、低貸し専門店。羽生店が、当社の関東における旗艦店となれるよう、スタッフ一同、頑張っていきたい」と決意を示した。



設備投資は極力抑え、その分、顧客本位の営業を追求している